

予算決算常任委員会 摘 録

1. 開 催 日 令和8年2月12日（木） 議場
2. 出席委員 徳永泰臣委員長 松森潤平副委員長 谷口隆明 横路政之 福山権二 近藤久子 五島誠 吉川遂也 國利知史 松本みのり 前田智永 岡野茂 宇山茂之 堀井慎一郎 桜田亮太 堀内富夫 木山義仁 青山学
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 島田虎往議会事務局長 横山和昭議会事務局議事調査係長 植木佳那子議会事務局主事
5. 説明員 なし
6. 委員外議員 なし
7. 傍 聴 者 1名（うち議員 桂藤和夫議長）
8. 会議に付した事件

1 第2回市議会定例会における予算決算常任委員会運営について

午後1時15分 開 議

○徳永泰臣委員長 これより予算決算常任委員会を開会します。ただいまの出席委員は18名であります。よって、直ちに本日の会議を開きます。本日の会議において、傍聴、写真撮影、録音、録画を許可しています。

1 第2回市議会定例会における予算決算常任委員会運営について

○徳永泰臣委員長 本日の協議事項、第2回定例会における予算決算常任委員会の運営について。それでは令和8年度当初予算審査の方法についてお諮りします。各常任委員会の所管事務の例による区分により、分科会において審査したいと思います。これに異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○徳永泰臣委員長 異議なしと認めます。よって、そのように決定します。それでは、第2回定例会における予算審査の日程について事務局から説明させます。

○島田虎往議会事務局長 それでは説明をします。本日の委員会では、分科会設置による令和8年度当初予算審査と令和7年度補正予算の審査もあわせた日程を御確認ください。配付しています資料1を御覧ください。審査の流れについて表にまとめていますが、縦に日付、横に会議の区分で表をつくりました。本日の本委員会終了後、各分科会におきまして、正副主査の互選と審査内容の協議・決定をしていただければと考えています。2月13日、3月定例会の招集告示がされ、議案が送付されます。2月20日が定例会の初日になりますが、令和8年度当初予算の議案が上程され、執行者から説明があります。このときに市長の施政方針の正式発表もありますが、予算の説明を受けた後、総括質疑が行われた後に付託審査が決定されます。また同日、予算決算常任委員会を開催しまして、当初予算議案についての全体質疑を行います。委員会終了後、正副主査会議におきましては、分科会の進め方等を御確認ください。2月24日から26日までの3日間で予算審査分科会の所管課別審査を予定し

ています。27日については、分科会の予備日にしています。予定どおり審査が進みましたら、3月13日の本会議終了後に正副主査会議を開催し、分科会の審査状況ですとか、附帯意見等の対応について御確認ください。3月17日は本会議終了後、予算決算常任委員会を開催し、令和8年度当初予算の分科会審査について、主査報告、質疑の後、委員会で採決します。3月18日は令和7年度補正予算について審査の予定です。3月23日、本会議の最終日になりますが、ここにおきましては補正予算と令和8年度当初予算の審査結果について委員長報告を受けた後、質疑・討論の後、採決という形になります。以上が令和8年度当初予算、並びに令和7年度補正予算の審査日程となりますので、御確認のほどよろしくお願ひします。2月24日からの各分科会での審査については、担当課の順番について資料2へ予定を示していますので、御確認をお願いします。

○徳永泰臣委員長 ただいまの説明に質問がありますか。

○吉川達也委員 一応確認しますが、先ほど議員全員協議会の中でありました、機構改革によって担当課が移動する影響、新年度予算については、令和7年度の課の事業に基づいて一応審査すると。令和8年度に担当課が変わった後は、どのようなつなぎを考慮しておられるか確認しておきたいと思ひます。

○島田虎往議会事務局長 先ほど議員全員協議会で新年度の組織の提案がありましたが、議案として出てきて部の決定という形になりますから、今回の8年度予算審査については現段階での所管事務に基づいて審査をいただく。執行者側から示される資料についても、現予算担当部署のところでの説明資料という形で出てきますので御審議ください。なお、今日の提案を受けて、委員会条例も3月定例会において発議によって構成なり所管部署を決定する形になると思ひます。そうなりますと、新年度については常任委員会名も変えなければいけないと思ひますし、所管部署も変わってくるという形になります。また皆さんにお諮りをしてからになります。昨年の4月、皆さんが第6期議員として当選された後にそれぞれ7年度予算の説明を受けられました。総務常任で審査していたものが、一部、特に税務課等は市民部へ移ることになると、市民部を担当する常任委員会が再度聞いておかないと分からないともあると思ひます。再度そういう予算の説明の場を、新しく変わった常任委員会でも設けなければいけないと思ひます。最終決定になった後、各常任委員長らも含めて協議して、そういう流れを組んでいくべきだと思ひますので、現段階では今の担当部署での審査をお願いできればと考えています。

○徳永泰臣委員長 他に質問ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○徳永泰臣委員長 それでは、審査日程はそうに決定します。次に、審査の内容について、新規事業や拡充された事業を中心に審査を行っていただければと考えていますが、この点について皆様から御意見があればお願いします。

○五島誠委員 昨年行った決算審査から重点審査事業をなくしまして、それぞれの分科会の中において勉強会といひますか、戦略会議といひますか、そうしたものを持った中で、どういった審査を分科会ごとに行っていこうかという戦略を立てていくことにしたので、今回もその振り返りを踏まえて、行う必要があると思ひます。

○徳永泰臣委員長 ただいま五島委員から、振り返りを踏まえて勉強会をしたらいいという意見が出ました。ほかにありませんか。

○國利知史委員 今日、分野横断的という話が出ました。それぞれの課にまたがる事業は恐らく多々

あると思いますが、そういう共通認識を持って各分科会それぞれの視点で同じ事業を審査する必要もあると思います。

○徳永泰臣委員長 ほかに御意見ありませんか。それではただいまの御意見を踏まえて、勉強会をするということです。それぞれ新しいプロジェクトがありますが、それを横断的に各分科会で勉強会をしていただくことでよろしいでしょうか。

○吉川遂也委員 24日の審査に向けてさらに予定を組んで、決算審査と同じような勉強会を各主査に一任ということで、前回の決算の審査のまとめの中でも申し上げましたが、主査の負担があまりにも大きい。その部分については委員長のほうで主導していただいて、テキストを作るなり、勉強会の趣旨、あるいはその方向性についてまとめたものを提示していただくと非常に助かるをお願いしたいと思います。

○徳永泰臣委員長 分かりました。その点については、改めて提示することをお願いします。ほかにありませんか。

○五島誠委員 それも踏まえて、今日の分科会で主査・副主査が決まるとありますが、正副主査会議を今日行ったほうが良いと思います。

○徳永泰臣委員長 ただいま五島委員から、分科会の後、正副主査会議を行ったらどうかという御意見がありました。そのようにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○徳永泰臣委員長 それでは、今日、分科会の後、また正副主査が集まって、主査会議を行うことで決定しました。各分科会での審査に当たっては、御留意くださいますようお願いいたします。この後の日程ですが、引き続き各分科会を開催し、正副主査の互選などを行います。その後にまた正副主査会議を行いたいと思います。以上で本日の予算決算常任委員会を散会します。ありがとうございました。

午後1時28分 散 会

庄原市議会委員会条例第 30 条の規定により、ここに署名する。

予算決算常任委員会

委 員 長